

2022 国際ロボット展への圃場水管理システムの出展報告

農地基盤情報研究領域 農地整備グループ研究員 鈴木 翔

東京ビッグサイトにて 2022 年 3 月 9 日から 3 月 12 日の 4 日間開催された 2022 国際ロボット展において、農水省ブース内に圃場水管理システムを出展しました。2 年前にも同じ展示会に出展しており、2 度目となります。普段見ることはない最新型の産業用ロボットや工業用部材などが並んでいる光景はなかなか壮観で、多くの人が行き交っていました。私達のブースと同じホールでは、主にサービスロボットが多く出展されており、簡単なコミュニケーションが取れる配膳ロボットや歌と手拍子で場を盛り上げてくれるロボット、パンケーキの盛り付けをしてくれる AI ロボットなどが出展されていました。とくに盛り付けロボットは実演の際のマイクパフォーマンスが凝っていたので、今後、出展する際の参考にしたいと思いました。

さて、今回はコロナ禍における開催に加えて、当ブースは最寄駅から距離がある東 7 ホールの入り口から見て一番奥のため、お客さんはあまり来ないのではないかと予想していました。しかし、前回に比べると客足は少なかったものの、用意した資料は 400 部以上も配布しており、最後の方には配布できなかったことも踏まえると想像よりも多くの人に足を運んでいただいたようです。そのような中でもブースまで足を運んでくださった方だからなのか熱心に話を聞いてくれる方が多く、「東京にいながら、地元の田んぼの管理したい!」「田んぼを継ぐことになったら、このロボットいれたい。」といった今後の利用に積極的な方もいました。それ以外でも、水管理の負担が解消できることに驚いてくれる方や聞いたことはあるけど実物は初めて見たという方もいたため、それだけでも出展した意義はあったと思います。コロナ禍の影響により、ロボット展自体の来場者が 4 日間の合計で 6.2 万人と前回の半分以下とのことですが、私達としては圃場水管理システムを十分にアピールすることができました。ロボット展に出展するにあたり、ご協力いただいた皆様にはこの場を借りて深く御礼申し上げます。

ちなみに、本物の水がでる圃場水管理システムのデモ機も通算 4 回目の出番となりました。前回も同じだったのですが、水がでる音がすると寄ってくる方も多く、なぜかブースの後ろからのぞき込んでくる人もいたりなど、水の音は人を引き寄せるようです。



出展の様子